

一般会計で 325億円を 計上しました。

市の主要な会計である「一般会計」の総額は325億円。市民一人当たり換算すると約32万円が今年度の仕事に使われます。

昨年度と比べると全体で3.8%少ない予算ですが、昨年度は広域排水事業負担金の一括支払いがあったので、この特殊事情を除いて考えると、今年度は実質的な「増額予算」だといえます。

個人市民税は 11億円増収の見込み

今年度入ってくるお金（歳入）は、市税収入が最も大きな割合を占めていて、11.5%増の117億1,990万円。特に個人市民税は税源移譲や定率減税の廃止により11億1,200万円（35.7%）の増収を見込んでいます。

維持補修費・積立金などが増加

今年度使うお金（歳出）をその性質によって分類してみます。

大幅に増額しているのは「維持補修費」と「積立金」です。

維持補修費は、河川の維持管理費、公民館・体育施設の修繕費などで3139万円（59.7%）の増額。積立金は、地域振興基金を積み立てたことで13億375万円（1,793.5%）の増額です。

減額しているのは、「普通建設事業費」や「人件費」などです。

普通建設事業費は、安曇野広域排水事業負担金を払い終えたことなどで29億1,368万円（41.4%）の減額、人件費は職員19人の減員などで2億3,013万円（3.6%）の減額となりました。

特別会計は1.9%の増

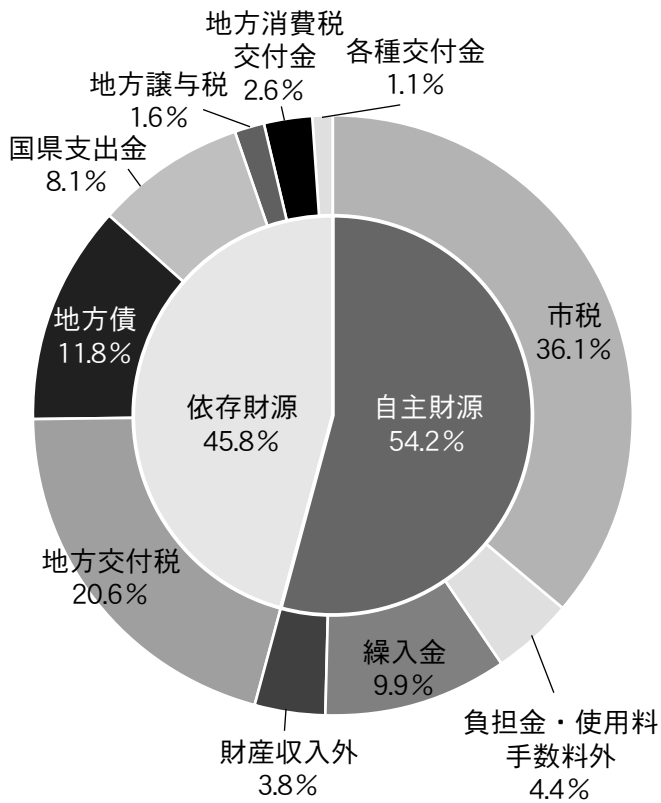
「特別会計」は、国民健康保険や介護保険事業、下水道事業など特定の目的を達成するために設けられた会計で、市には12会計あります。

今年度の予算総額は、合計で303億4,273万円。昨年度と比べ5億6,337万円（1.9%）増額となりました。

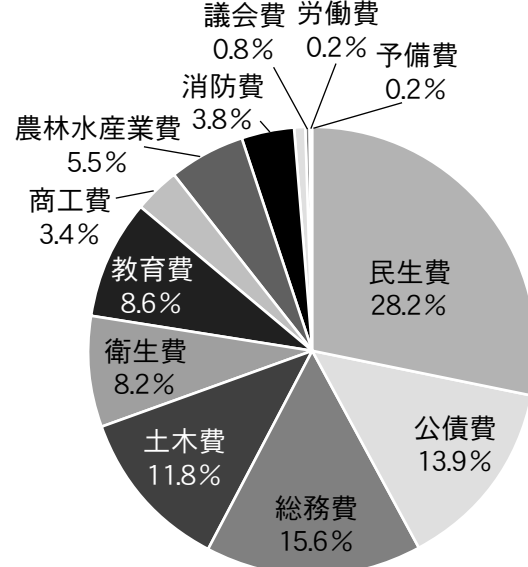
各会計予算額一覧			
会計名	予算額	前年度比(%)	
一般会計	325億円	△ 3.8	
特別会計合計	303億4,273万円	1.9	
同和地区住宅新築資金等貸付事業	782万円	△ 8.3	
国民健康保険	90億7,050万円	13.7	
老人保健	88億1,180万円	△ 4.7	
介護保険	56億7,583万円	5.6	
下水道事業	61億1,396万円	△ 4.4	
農業集落排水事業	2億757万円	7.4	
上川手山林財産区	173万円	0.8	
北の沢山林財産区	57万円	37.1	
有明山林財産区	123万円	79.6	
富士尾沢山林財産区	64万円	△ 31.3	
穂高山林財産区	59万円	31.3	
産業団地造成事業	4億5,045万円	△ 12.7	
企業会計			
水道事業	収益的収入 20億3,628万円	△ 3.6	
	支出 19億8,580万円	1.6	
	資本的収入 2億9,143万円	△ 73.5	
	支出 18億3,081万円	△ 15.9	
市営宿舍事業会計	収益的収入 3億100万円	△ 0.0	
	支出 2億9,900万円	△ 0.7	
	資本的収入 0		
	支出 1,200万円	△ 29.0	

※1万円未満は切り捨てて掲載。

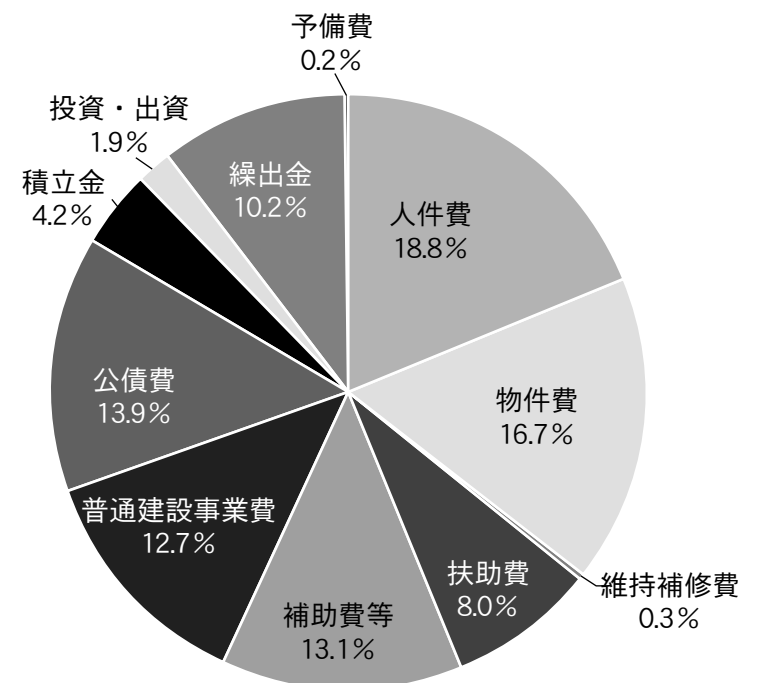
一般会計歳入構成比率



一般会計歳出構成比率(目的別)



一般会計歳出構成比率(性質別)



昨年度と比べ
13億円減
3.8%減